

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 24 年 10 月 17 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 11 時 30 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 24 年度第 7 回)		
出席者	荒井委員、荒木委員、石井信子委員、石井真奈美委員、岩木委員、岩下委員、上原委員、斉藤委員、新谷委員、寺島委員、長岡委員、西川委員、西澤委員、牧野委員、宮下千元委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員、山崎委員 (欠席委員)宮下省二委員 (事務局)池田地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第	<p>1 開会(事務局)</p> <p>定刻になりましたので、只今から上田城南地域協議会を開催します。よろしくお願ひします。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>おはようございます。ついこの間まで、猛暑だったのを忘れるくらい一気に秋が来た感じで今年の紅葉はいつもより綺麗に思えるのではないかとそんな気がします。上田は平和な都市なのですが、毎朝、新聞を見ますと様々な事件・事故の記事が多いような気がします。いろいろな事件が起こっていますが、是非協議会の皆さんで「住み良いまちづくり」その一点でご尽力をいただければと思います。口で言うのは簡単ですがなかなか実行するのは難しい社会です。そんな気がする昨今でございます。ちなみにトピックスとして、長年、保護司をしておられました荒木副会長が、この度表彰されることになりまして、皆さんにお伝えしておきます。そのような方が、委員におられるのは大変嬉しいことで、これからのご活躍を期待しています。</p> <p>食欲の秋、読書の秋、秋の夜長をどうか一つお時間を見つけて本をお読みいただければと思います。今日は、部会の中間報告を行いまして、半期が過ぎたので反省点等ご意見を直接お聞きして、その後広報委員から次回発行のかわら版について説明してもらい、宮島委員から本のご紹介もあります。そのように進めたいと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。</p>		

副会長： おはようございます。今、会長から身に余るありがたいご紹介をいただきました。せっかくの機会ですので保護司について少し説明させていただきます。

この中に保護司をされている方が3名います。宮下千元委員、上原委員と私です。上田の保護司会の中で、活躍されています。今年は宮下委員と私が表彰されることになっています。報酬はありません。半分、ボランティアで毎月、2回面接して報告書も自分で出すのですが、その費用も自費でやるそのような会です。社会を明るくすることは勿論、犯罪防止に務めていますが、皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

会長： ありがとうございました。他にも地域でこのような活動をされている方がおられましたら、情報の共有も図られますのでこの協議会でお話をしていただければと思います。お願いします。

3 会議事項

- ・説明資料（1・2・3部会）
- ・城南かわら版（原稿）

会長： それでは、議題に沿って進めさせていただきます。各部会の中間報告を第1部会からお願いします。

【第1部会】

第1部会から報告させていただきます。7月18日、8月22日にわたって、まず里山と農地について城南地域が抱えている問題点を洗い出しました。

（報告書の説明）

会長： ありがとうございます。この、市と農政課と話し合いをするというのはいつ頃を予定していますか。

委員： これからです。

会長： ぜひ、進めて下さい。それで何か提言できればと思います。

委員： 今後の部会でそのことを話し合う予定です。

会長： わかりました。その他、ご意見ありましたらお願いします。

委員： 資料の7行目、「にせアカシヤが山の中腹にまで広がり、景観上も保水力の面からも問題である」と書いてありますが、にせアカシヤは保水力がないのですか。

委員： 根っこが非常に浅いので、保水する力がないです。景観上というのはやっぱり山の風景が全体的に変わって行ってしまいます。確かに花の咲く時期は綺麗だと思います。要するに今までにあった山の景観が壊されているということです。

委員： それともう一つ加えますと、にせアカシヤは花粉が凄いです。洗濯物にも真黄色の花粉がもの凄くつきます。

委員： かつて、にせアカシヤは川原に植えられました。というのは水害の時にアカシヤを切り倒してロープを付けて川に流すと岸の上には水が来ない。防災の面でも活用されていました。だから、ここで一概に悪者にしてしまうのもどうかと思います。

委員： はい。わかりました。

会長： 他に何かご意見ありますか。今、花粉の話が出ましたが来年は平年より多く発生すると予報が出ています。ちなみに杉の木は、日本で戦争をやっている時にガソリンが無くて木材を切って木炭として車を走らせた時代がありました。木をみんな切り倒してしまって、それでは山がはげ上がってしまうということで植えたのが杉の木です。昭和20年の3月、終戦の年に「杉の子の歌」ができてその歌を歌って杉を育てようとなりましたが、その後遺症として、今杉花粉になっています。これはやっぱり戦争が原因ではないかということでお話させていただきました。ありがとうございました。

委員： 第1部会の件で、にせアカシヤの話が出ましたが、私の記憶で間違えなければ、長野市で河川敷にあるにせアカシヤを倒木するという計画があり、それに対して民間の業者に何とかしてもらったということです。多分、行政の方で調べてもらえばそのようなこともできると思います。それともう一つ、アレチウリですが、これは川辺・泉田連合会で各自治会が、春と秋にアレチウリの駆除をしているのですが、そのようなところとも連絡を取るのも良いと思います。

委員： 川辺・泉田では、今年からそのような提案をしまして、年3回に渡って各自治会から1回30名ずつ、産川で湯川との合流点付近の橋周辺までやったのですが、作業はまだ生え始めの最初のうちにある程度抜けるからやった方が良いでしょう。2,3

回目に 2 ヶ月くらいおいてやった場所は、なかなか木が繁茂してしまって根っこまで抜けない状態です。約 5 年位引き続けてやっていくと、ある程度減っていくようです。来年も河川で引続きやっていくような方向にもっていきたいと思っています。

会長： ありがとうございます。それでは第 2 部会をお願いします。

【第 2 部会】

第 2 部会として、まず 8 月 22 日に生活道路の安全性整備、公共機関の利便性向上、先にどちらを協議するか話し合いをして、生活道路の安全整備について取り組むことに決まりました。初めに小学校の通学道路の安全を重点に見ていくということで、学校から資料をいただきました。この資料をもとに 5 人で 3 小学校を手分けして問題箇所等を把握し、現地の状況を確認することになりました。また、市内のバス路線図も併せて取り寄せて、9 月 26 日にバス路線図と通学マップが揃いました。

その後、部会内で手分けをして、城下小学校に行った委員から、通学範囲の確認、通学路内の危険箇所の確認、PTA が見守る横断場所の確認、通学路マップの有無の確認、市・地域などへの要望事項等について調査し、城下地区の安全マップが全児童に配布されていることを確認しました。各自治会で危険箇所を把握確認し、改善に向けて検討もされているので、協議会としては見守っていくことにしました。それから城下小学校では、現在集団登校をしていないそうです。また、小牧・朝日ヶ丘・中村・三好町・御所の P T A 支部長から要望があり、本年度よりマップの見直しを予定しているということです。それから文部科学省と県で緊急合同点検が行われたと案内がありました。協議会としては自治会で危険箇所を改善しつつあるので見守っていくことにしました。

この前は第六中学校の通学路の問題も出ましたが、これは 10 月 2 日の夕方、六中前に集まって現場を見ることにしました。両方の通学路を見て回りましたが、元々の通学路には、グリーンベルトもあり、街灯も 14 基あり、明るく人家もあり、もしもの場合は助けも求められるので道幅は少し狭いかもしれませんが注意して通学してほしいとお話でした。今のところ以上になります。

会長： はい。ご苦労様でした。皆さんそれぞれ順を追ってもらい、ありがとうございました。

委員： すみません。私が以前、話を投げかけました六中の通学路の問題ですが、その後話が進みまして電柱を建てるお金については関係自治会で分担し、電気料につ

いては吉田自治会で持つという話になりました。ただ、LEDで5基設置するのですが、関係する地権者の方が21名おられて吉田の自治会長が承諾書をもらい、それが整った時点で、できれば今年度の3月までに工事を実施したいということです。私の方に関係資料がありますので、自治会長にお届けします。

委員： わかりました。ありがとうございました。

会長： 他に何かありますか。では第3部会お願いします。

【第3部会】

第3部会はお手元に中間報告書があると思いますが、6月23日に課題を設定しました。まず、地域でどのような要望があるのか把握することが第一でした。

次に把握の方法ということで記載しています。これらに基づいて2の活動を進め、8月1日には市のこども未来部との意見交換をしました。ここでは市として城南地域に対して特別に要望することはないという話をお聞きしてまいりました。

今後の活動として、10月30日に地区管内の保育園の視察を行い、園長先生と懇談をします。これについては保護者の皆さんとの懇談という意見もありましたが、日程的に都合が付かないということでした。その代わりに資料2番目にあります「上田市保育園保護者連合会のアンケート」が7月の初めに市内全保育園を対象に実施されましたので、その結果について検討させていただいて現在の保護者の皆さんからどのような要望があるのか把握したいと思います。それから「平成24年度自治会連合会の行政に対する関係要望の把握」として、川辺・泉田、城下地区自治連でそれぞれ6月から7月に市の方に要望を出しています。それについても内容を確認、把握したいと思います。また、「地域包括支援センターとの意見交換」これは川西と城下地域に包括支援センターがあります。これについても調整をして意見交換をしたいと考えています。それから「高齢買物弱者調査結果(H23.11.4実施)の検討」では、商工課や民生児童委員にお願いしまして、高齢者が今何をどう困っているかアンケート調査をしているはずなので、この結果がどこにも出されていないので市に問い合わせをしてみたいと思っています。これらの状況をふまえた上で、部会としてどういう課題を選定していくか、年内に決めて検討を進めていきたいと思っています。以上です。

会長： ありがとうございました。この件について何かご意見ありましたらお願いします。少子高齢化というのは、当面大きなテーマの一つですので、どうかよろしくお願いします。では次に第4部会の報告をお願いします。

【第 4 部会】

私共の部会につきましては、地域内分権の実行というテーマで、今年度から第 4 ステージに入っているわけですが、この第 4 ステージの住民自治組織の設立の実現に向けての調査研究の部会です。この大きなテーマについて取り組んでおりません。

第 4 ステージで掲げた内容については、市の計画によりますと住民自治組織の設置が 2018 年、平成 30 年度を目途に進め、2021 年度、平成 33 年にこの体制を確立してスタートするという内容になっています。現在は第 1 ステップということで、この第 1 ステップは平成 26 年度までとなっています。

8 月 22 日、まずこの取組の基礎になる「上田市の自治基本条例」について、担当課に来ていただき逐条解説の説明を聞きました。次に私共が市へ行き、この問題について意見交換、協議をしました。将来的に現在ある自治会組織や地域協議会を含めて、「地域の個性が生かされ地域力の発揮されるまちづくり」を進めようということで、平成の大合併で全国 3,200 くらいあった市町村が概ね半減し、長野県でも当時 120 くらいあった市町村数が現在は 77 になっています。行政の範囲が大きくなるということは従来のような、きめ細かな行政サービスができにくくなる、難しくなるということで、より地域に密着した住民自治組織というものをつくって対応していかなければいけないのではないかという発想です。従って今まである自治会・町内会は以前からある歴史的なものなのですが、実績をふまえ、地域協議会の活動もふまえて将来的にもっとよりよい新市を作っていくためにはどういう方向がいいか、ということでこの発想が出てきたということです。

この件については関西地域、県内では長野市等、一部先行して研究、実施している地域もあるようです。今後、そのようなことも参考にして引き続き議論を進めていきたいと思えます。どちらにしても今まである組織を巻き込んで、学区単位で組織をつくっていく方向で進んでいるところもあります。

行政との懇談の場でも、まだ市として具体的に決まっていない部分があると認識しました。そのような状況もあり実施の期間が長すぎるのではないかと意見もいただいていたのですが、引き続き行政サイドと私共で情報交換をしていきたい。私共の任期というのはあと 1 年半はありますから、その間、部会としてどういう提言ができるのか、どういう方向で出来るのか、まだ分かりませんが意見交換、視察等をして今後とも研究調査をしていきたい。

会長： どうもありがとうございました。この件についてご意見、ご質問等ありましたらお願いします。第 4 部会が一番大変なテーマを持っていただいて、まだこれだと 100%言い切れる具体像が無いような気がします。その中で何か道筋を見つけようと一生懸命ご活躍いただきたいと思います。

以上、中間報告をしました。それぞれ活動を進めていただいております。引き続き大変ご苦労ですが、地域協議会として地域のためにテーマに沿って研究してもらいたいと思いますので、よろしく願います。

では次に本日の議題には書いてないのですが、予め通知をお願いしてありましたこれまで半期の反省、ご意見等をまず 1 期目の皆さんにお聞きしたいと思います。10 名おりますので指名させていただきます。皆さんのご意見に対しては、特段の追加意見は求めませんので遠慮なくお聞かせください。

委員： 協議会を進める中で、部会に分かれて実際課題研究をやらせていただいて、時間が無いということを感じています。この期間に何が出来るか、課題が凄く大きくこの 1 年間でどこまで出来るのか不安です。また自分がどのように関わっていけばいいかが不安です。時間を取るの凄く難しいと実感しています。

委員： 自分の反省としては、まだまだ積極性が足りないと思う。それと全体的な流れがまだつかめない部分がある。今第 3 部会に入っていますが、その他に日赤奉仕団にも入っていて 1 人暮らしのご年配の方のお宅にお弁当をつくって配達しています。高齢者のことを考えていくのと、他の部会の方達の報告を聞いて少子化に関しても何らかの対策を見つけられないかという感じで、それがどういう方向にいけばいいのか、まだはっきり見えてこない状況です。本当に短い二年間の中で色々聞いた情報とか皆さんのご意見を参考にしながら自分の中でまとめていきたいと思っています。

委員： 私もまだ地域協議委員として、自分が何をできるのか分からないまま進んでいるのですが、一応部会で子育て・高齢者をやっていますので子育てに携わっている立場から色々意見が出せればと思っています。

委員： 私もまだ知らないことが沢山あると毎回ここに参加して、このような仕組みになっているんだと改めて勉強しています。これから子育てに関することで、自分も子育てをしている母親として色々な意見をぶつけていきたいと思っています。

委員： 私は自治会長として、川辺・泉田地区自治連、城下地区自治連とも兼ねてやっています時間が少ないのが実状です。そして、私もこのようにやったら委員として良いのかなとハッキリとつかめていないのが現状なのですが、皆さんと共にやっていければと思っています。

委員： 私もまだ、何も分からない状況で、この会に参加して吸収するだけでいい

いっぱいのところ、自分でこうやっていこうとかできない状況なのですが、第一部会に参加させていただいて、自分の中で今まであまり関係の無い部分だったことも新聞やニュースで興味を持つようになりこういうことはこうなのかと勉強するようになった。

委員： 正直な話、最初この話を受けた時には一定の不安はあったのですが、そう難しい問題ではないから頼むと言われ入った一人です。そして2,3ヶ月経った時に、えらい所に来てしまった、止めとけばよかった。というのが正直な感想です。でもこうやって皆さんとお話していき段々と勉強していくうちに、じゃあ頑張るかという気持ちになってきました。

委員： これは要望なのですが、部会をやっていると皆さんそれぞれお仕事を持っていて、この月1回の地域協議会に出て、なおかつ部会をやるとするのは少し負担が大きいです。できればこの定例の地域協議会を例えば2ヶ月に1回とか、3ヶ月に1回にさせていただき、その間、日は統一しないで各部会で、月1回開いて活動する。そうでないと私共は既に2回ご負担をかけている。月2回となると仕事をしていない方は良いが、皆さんそれぞれに子育てしながら仕事もしているので大変だと思う。その辺の調整をできれば事務局と正副会長で検討していただきたいと思う。

委員： 私も仕事しながら出席していて大変だなと思うのが正直な感想です。半年経って、目指すところは何なのか、常に意識して確認しながら部会の方に参加していないと自分が何をしているのかよく分からなくなってきました。

里山と農地の関係をやっているのですが、問題点を洗い出して伐採の話が出ると私が伐採できるわけでもないし、では私達は何をどういうことを話していけば納得できるのか、満足できる結果が出来るのかというのが良く分からないでやっている状態なので、確かに時間もないですし、これ以上の時間を割くのも私も無理だと思う。そうすると不安なところです。それとお願いがあるのですが、1期生として皆さんの会話が良く分からないことが非常に多い。最初から会長のお話を聞いて流れを聞いていると、一生懸命聞いていても良く分からないので、私達に分かりやすいように話していただくとありがたいです。

会長： ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。これからの会の運営に活かせることは活かして前に進みたいと思いますので、これからもどんどんご意見なり提案していただければと思います。ではここで時間も少しあるので2期,3期の皆さんのご意見も併せて聞かせていただきたいと思います。

副会長： 皆さんの話をお聞きして誠にもっともなことだと思います。私も最初の頃は何をやっているのかさっぱり分からなかったのですが、やはり最終的に考えられることは目的を早く見つけることだと感じます。市から委嘱されて役に就いたということは、ただ何となく出席して何も言わないで帰ることが、一番無駄な時間を使っているのではないかと思います。分からなかったらその場で聞いてもらう。今、言葉が分からない。意味が分からないと言われましたが、それはまず目的がハッキリしていない中では、どのようなことを言っているのか理解できないのかなと思いました。是非、分からないことはすぐにその場で聞いてもらえばもっと理解が深まるのではないかと思う。やはり大切なことは、代表で選ばれ指名されてここにいることを頭に入れて取り組んでいけば自分自身がやることも自ずと分かると思う。3期目になりようやくそのように感じています。ですから他の部会が何をやっているかも気にとめていただき、その部会に対して意見があれば伝えてもらう。この部会は意見が伝えられることによって違う視点での検討が生まれると思いますので感心を持つことも良いと思います。そんな点も踏まえて参加して欲しいと思います。では、自分でもそうは言いますが自分がこれまでやってきたことを振り返ると自信がありません。何をやってきたのか、何が残っているのかと考えますと反省点もありますので、今からでも積極的に取り組んでいきたいと思います。以上です。

会長： 他に皆さんどうですか。

委員： まだ、ご意見伺っていない方がいます。

会長： 失礼しました。お願いします。

委員： 既に任期2年間のうち1/4が過ぎたと言われますが、私はあまり急がずに結果を求めるのではなくて、まず自分がどの部会を担当して何をしようかということ自分を納得しないと進めないものですから、先程、興味を持って目的意識をしっかり持ちなさいといわれましたが、その前に自分が納得できる状況を先につくった上で与えられた期間でどれだけのことが出来るのか。はじめ、私もあまり理解していませんでしたが、部会が進むにつれて地域との関わりが当然生まれてきますし、自分から求めていかなければいけないこともあります。学校の問題にしても相手がPTAであったり、あるいは自治会であったり、自治会の連合会もありまして、何かしようと思った時、既にその組織の中では課題の研究が進んでいる分野もあります。既存の組織と協議を重ねて、より良い地域づくりのために何か提案できれば良いと思う。あまり急がずじっくり考えてと、私の中では考えて

います。

会長： ありがとうございます。すみませんでした。地域協議会の性格というのは、まだ分からない部分もあるのかなと思います。私の意見は副会長が言ったことと同じですが、この会には決定権がないのです。しかし、提言や意見という形で市長へ話を持っていくことはできます。これが基本なのでどうしても時間が足りないと思うことは私共も経験しました。会は二時間程で年間 24 時間、合わせてたった 1 日分です。その中で多くを片付けるのは大変だと思いますが、その中で研究を掘り下げる意味で部会をつくりました。部会として活動してもらうのも制限はありませんので積極的に行い足りない時間を補っていただきたい。貴重なご意見ありがとうございました。

2 年間で全部やろうと思わないで道筋をつくり、次の方々にバトンタッチするのもあり得ることと思いますが、2 年間で結論を出せるものは出してもらいたい。時間を有効に活用していただければと思います。それから個人的でも良いですが、分からないことはどんどん質問してください。

では次に移りたいと思います。お手元にございますように「城南かわら版」の第 2 号目のレイアウトを作っていただきました。これについて広報委員より説明をお願いします。

委員： まず、表の方、これを 12 月に城南公民館だよりと併せて発行したいと思っています。過日、広報委員会を開いてこのような形でいこうと決めました。初めの記事は、今日発表していただいた 4 部会の中から決定して、経過報告をしていただきます。ということでお願いしたいと思います。住民の皆さんにアピールすることもありますので、出来るだけ分かりやすく、簡潔、明瞭な説明をしてもらえれば助かります。それからその下に継続している「わがまち魅力アップ応援事業の今は」ということで、今年度採択された方達ではなくて過去に、採用されてまだ継続して実施している方達の活動の現状を紹介したいと思います。これは千曲町自治会にお願いしたいと思っています。それからその他に継続されている自治会では、御所自治会と半過自治会です。

裏面にいきますと、これは今年「わがまち魅力アップ応援事業」に採択された事業で、一つは「上田原古戦場まつり」で上田原地域活性化協議会にお願いをして、もう一つは「中之条地籍の歴史遺産」で中之条自治会にお願いしようと思っています。

最後に新たに「まちの散歩道」というコーナーをつくり、城南地区にある歴史遺産や自然風景などを紹介していきたいと思っています。今回はこのような構成にしていきたいと思っています。それで皆さんにお願いしたいのは、今日協議会に出席の

委員で、所属している自治会、又は活動団体に文章や写真等をお願いしていただきたいと思いますので、今日、持ち帰って代表の方をお願いしていただきたいと思います。最終は来月の協議会に原稿と写真をお持ちいただけたらと思います。なお、今年の第1,2回の発行では公民館だよりと連携して裏表A4、2枚分なのですが、年度末の3月は公民館だよりと切り離して地域協議会だより単独で発行することを考えております。以上です。

委員： すみません。「まちの散歩道」なのですが、まちという言葉に例えば小牧の場合、合わないと思うので「城南の散歩道」にして、自治会を入れたら良いと思う。

委員： それについては、この後広報委員会で話し合ひましょう。

委員： はい。そうですね。

会長： 非常に分かりやすい広報になったと思います。是非、ご意見などありましたらお願いします。なければ次にその他へ移りたいと思います。

その他・「信州上田絹の郷」小冊子完成のお知らせ

- ・「加美幡そば愛好会」東信ジャーナル掲載のお知らせ
- ・上田市議会意見交換会のお知らせ
- ・ききのべ会第17回講演と写真展のご案内

会長： それでは、以上で休憩の後、部会を開催して流れ解散にしたいと思います。

4 次回会議の開催と日程について

第8回城南地域協議会 平成24年11月21日(水)

第9回城南地域協議会 平成24年12月12日(水)

5 部会開催後 閉会